

# 目 次

## 第1章 化学工学の基礎

1-1 単 位 系 .....	1
1-2 単位の換算 .....	3
1-3 化学工学の基礎概念 .....	5
1-3-1 単 位 操 作 .....	5
1-3-2 物質収支・熱収支 .....	6
1-3-3 物質移動・熱移動 .....	9
演習問題.....	17

## 第2章 バイオプロセスと生体反応

2-1 有用物質生産に用いられている生物 .....	20
2-2 バイオプロセスの概要 .....	24
2-3 殺菌および除菌操作 .....	26
2-3-1 殺 菌 .....	27
2-3-2 除 菌 .....	31
2-3-3 その他 無菌操作 .....	32
2-4 培地の選定 .....	33
2-5 培地成分以外のほかの影響因子 .....	38
2-6 生体内反応 .....	40
2-7 培養の経時変化 .....	42
演習問題.....	43

## 第3章 バイオプロセスの設計と操作

3-1 はじめに .....	44
3-2 酵素反応速度論 .....	44
3-2-1 化学反応速度論 .....	44
3-2-2 酵素反応速度論 .....	46
3-2-3 阻害のある酵素反応 .....	48
3-3 微生物反応の量論 .....	49
3-3-1 微生物反応における量論式 .....	50
3-3-2 収 率 .....	50

3-3-3 代謝熱 .....	51
3-4 微生物反応速度論 .....	52
3-4-1 微生物反応とモデル .....	52
3-4-2 増殖速度 .....	53
3-4-3 基質消費速度 .....	54
3-4-4 生産物生成速度 .....	55
3-4-5 統計的方法を利用したモデル .....	56
3-5 微生物の培養とプロセスモデル .....	58
3-5-1 微生物の培養方法 .....	58
3-5-2 回分培養 .....	59
3-5-3 流加培養 .....	60
3-5-4 連続培養 .....	66
3-6 固定化生体触媒 .....	70
3-6-1 生体触媒の固定化 .....	70
3-6-2 固定化の方法 .....	70
3-6-3 固定化微生物 .....	71
3-6-4 固定化酵素 .....	71
3-7 微生物培養装置（バイオリアクター）の形式と特徴 .....	71
3-8 バイオリアクターのスケールアップ .....	73
3-8-1 スケールアップの特性 .....	73
3-8-2 スケールアップ指標 .....	74
3-8-3 スケールアップ計算例 .....	76
演習問題 .....	79

## 第4章 高度な培養操作と自動制御

4-1 自動制御の基礎 .....	80
4-1-1 フィードバック制御 .....	81
4-1-2 不感幅をもうけた比例制御 .....	84
4-1-3 PID 制御 .....	84
4-2 知識工学的手法に基づくバイオプロセス制御 .....	88
4-2-1 ファジィ制御 .....	90
4-2-2 ニューラルネットワーク .....	95
4-2-3 エキスパートシステム .....	95
4-2-4 遺伝的アルゴリズム .....	96
演習問題 .....	96

---

## 第5章 分離精製操作

5-1 遠心分離操作	99
5-2 菌体破碎操作	101
5-3 沈殿分離操作	102
5-4 膜分離およびろ過理論	103
5-5 クロマトグラフィー分離	109
5-5-1 ゲルろ過クロマトグラフィー	110
5-5-2 イオン交換クロマトグラフィー	112
5-5-3 疎水性クロマトグラフィー	112
5-5-4 アフィニティークロマトグラフィー	113
5-5-5 クロマトグラフィーの理論	114
5-5-6 固定層吸着	119
5-5-7 カラム内における溶質の物質移動と吸着帯の移動速度の算出	120
5-5-8 バイオアフィニティーを利用した分析技術	122
演習問題	124

## 第6章 代謝制御発酵

6-1 一次代謝産物の代謝制御発酵	126
6-1-1 代謝調節機構	126
6-1-2 代謝制御発酵の仕組み	132
6-2 代謝制御発酵のための育種技術	136
6-2-1 スクリーニング	136
6-2-2 人工突然変異による菌株の改良	137
演習問題	143

## 第7章 遺伝子組換え操作

7-1 遺伝子を理解するための基礎知識	144
7-1-1 DNAの構造	144
7-1-2 原核細胞と真核細胞	147
7-1-3 各種ベクター	149
7-2 遺伝子組換え基本操作	157
7-2-1 DNAの加工操作	157
7-2-2 目的遺伝子を持ったベクターを宿主に挿入する操作	162
7-2-3 目的遺伝子の獲得	163
7-2-4 塩基配列の決定	168
7-2-5 塩基配列の解析	170

---

演習問題	172
------	-----

## 第8章 組換えタンパク質の高発現技術

8-1 発現ベクターおよび宿主の選択	173
8-2 外来遺伝子の発現制御	174
8-2-1 外来遺伝子のコピー数の最適化	174
8-2-2 外来遺伝子の転写段階での制御	176
8-2-3 外来遺伝子の翻訳段階での制御	179
8-3 外来遺伝子産物の回収技術	181
8-3-1 プロテアーゼ活性の阻害	181
8-3-2 分泌技術	181
8-3-3 融合化による回収技術	182
8-4 外来遺伝子を取り込んだ遺伝子組換え微生物 (recombinant) の培養方法	184
演習問題	189
演習問題解答	191
単位換算表	199
索引	201